

チ一、〇〇〇馬力以上ノモノ一箇所ト之ニ滿タサルモノニ
箇所トス。發生電力ハ金澤市及附近町村ニ供給シテ尙餘
カアルヘシ

水力地點ノ説明

順位九五六 本地點ハ瀨波川上流ヨリ右岸ニ取入レ開
渠延長約一、五二〇間ニテ金澤市既設取入口上流ニテ放水
セシム

順位九六二 直海谷川上流河内村大字奥池ヨリ取入レ
右岸ニ沿ヒ開渠延長約一、一八〇間ニテ同村大字内尾地先
ニテ放水セシム

順位九六三 河内村大字内尾ヨリ右岸ニ導水シ開渠約
二、七〇〇間ニテ同村大字板尾地先ニテ放水セシム、本地點
ハ内務省河川法準用區域ニ關係ス

以上各地點共河川ノ上流部ニ位シ附近僅ニ迂餘曲折セ
ル道幅三尺餘ノ山道存スルノミニテ交通甚タ不便ナリ、流
木及灌溉用水等ニ關係ナシ

第二十一章 梯川水系

一、流域 地勢 本水系ハ主トシテ梯川及動橋川ヲ以テ

郡金野村字土合ニ於テ東方大倉山ヨリ出テ尾小谷、倉谷等
ノ諸嶺山附近ノ溪流ヲ集メ來タル尾小谷川ヲ合セテ梯川
本川ヲ成ス。本流ハ之ヨリ荒木田北端ニ出テ今江灣ノ餘
水ヲ受ケ安宅町ヲ貫流シテ日本海ニ注ク。水源地方ハ高
山ニ乏シク山勢概シテ緩ナルヲ以テ河川ハ最上流部ニ於
テ水勢激湍ナルモノアレトモ流下スルコト須臾ニシテ勾
配緩トナル、流域又狹小ニシテ流量大ナラザルカ故ニ中流
部ニ至レハ本川及大杉川共、大杉谷村字赤瀬附近ノ下流一
小部分ヲ除キテハ水勢緩ニシテ河床砂礫堆積シ水力ノ利
用ニ適スルノ地ナシ

利用シ得ヘキ範圍 僅ニ前記水源地方一部ノ間ニ極限
セラルモノト見ルヘシ

流量ノ變化 未調査ニ屬スレトモ略隣川手取川ノ流量
變化ニ類似シ稍之ニ劣ルト見ルヘク、濁水量モ大略流域一
方里當一四個内外ナルヘシ

動橋川ハ源ヲ小大日山ノ北麓ニ發シ北西ニ流レ第三紀
層流紋岩ノ地方ヲ過キ鞍掛山ノ西麓ヲ繞リテ北シ第四紀
層ノ平野ニ出テ勅使村及動橋村ヲ貫流シテ柴山瀨ニ投ス
本川ノ河川勾配ハ概シテ緩ニシテ其ノ利用範圍モ上流
東谷奥村字大土附近ヨリ下流少許ノ間ニテ既ニ該箇所ハ

形成シ其ノ全流域面積約二、六〇方里、内平地約七、〇方里、山
地約一九〇方里ヲ占ム。流域ノ東部ハ大日嶽ヲ起點トシ
テ鈴ヶ嶽、牛首嶽、大倉山、揚原山ニ連レル山脈ニヨリテ手取
川水系大日川ノ流域ニ接シ西南ハ大日山ヨリ小大日山ヲ

過キテ西北ニ蜿蜒セル丘陵ニヨリテ大聖寺川流域ニ隣ス、
域内ニハ山嶽、丘陵起伏シ就中鈴ヶ嶽ヲ起點トシテ北北西
ニ延ヒ菩提峠ヲ經テ漸次北方ニ低夷スル一分脈ハ東方梯
川及西方動橋川ノ分水嶺ヲナシ流域ヲ兩分ス

地質 域内ノ地質ハ殆ト第三紀層ヨリ成リ上流水源地
方ニ於テ雲母岩、安山岩、粉狀安山岩等、中流部ニ於テ流紋岩
之ヲ貫キテ迸發シ廣ク第三紀層ヲ掩ヘルアリ、第三紀層ノ
邊緣ハ第四紀層之ヲ繞ラシ南北ニ長キ平地帯ヲナシテ日
本海ニ盡ク

林野狀態 域内ノ山林ハ闊葉樹ヲ主トシ所々針葉混生
林及針葉樹林ヲ交ヘ流域上流部ニテ林相稍可ナルモノアリ
リト雖、中流部ヲ下リテハ原野或ハ耕地其ノ主要部ヲ占メ
概シテ林野狀態良好ナリト言ヒ難シ

二、河川狀況 梯川水系ヲ形成スル主要河川ヲ大杉川ト
ナシ大日山ノ北方ナル鈴ヶ嶽ニ源ヲ發シ北流シテ第三紀
層及流紋岩ヨリ成レル地方ヲ蛇行シ蜿蜒幾曲折ノ後能美

動橋川電氣株式會社及日本絹織物株式會社ノ許可地點ト
ナレリ

三、氣象 降水量ノ分布ヲ見ルニ山間地方ニ至ルニ從ヒ
其ノ量ヲ増加シ其ノ季節的變化ハ山間平地共、晚秋十一月
ヨリ冬季十二月及一月迄ハ降水量概シテ多量ニシテ七月、九
月之ニ次キ二月、三月、八月、十月之ヲ追フ而シテ四月、六月ハ
稍少量ヲ示シ五月最少シ

四、治水及水利事業 沿岸ハ上流山間地方ニ於テモ割合
ニ能ク拓ケ所々耕地地ヲ散見スレトモ前記利用範圍ニ於
テハ流木及惡水ハ大杉川ニ之ヲ見ス、而シテ灌溉關係殆ト
ナク水利使用上影響少シ

五、水力地點 水力利用範圍ハ大杉川ニアリテハ大杉谷
村大字瀨領ヨリ上流同村大字赤瀬ニ至ル間ト、動橋川ニテ
ハ東谷奥村大字菅生谷ヨリ上流同村大字今立ノ區間ニシ
テ大杉川ニ於テ濁水標準ニテ一、〇〇〇馬力ニ滿タサル選
定地點一アリ、動橋川ニハ二許可地點アルコト前記ノ如シ

水力地點ノ説明

順位九六四 大杉谷村大字赤瀬上流彎曲部ニ取入口ヲ
設ケテ左岸ニ沿ヒ開渠延長約一、六五〇間、隧道延長約二一
〇間ニテ同村大字瀨領先ニテ放水セシム。流木及灌溉用

大杉川水力地點表 水量、落差ニキチ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水長路	面積域	能發率電	馬力數年平均	等級
九六四	大杉川	番外	石川縣能美郡大杉各村 赤杉瀨	同郡大杉各村 瀨	湧水 * 四三 低水 * 七二 平水 * 一〇九	* 一一八	五六三 九四三 一、四二八	一、八六〇	二八五	一〇〇・〇 九四・八 八四・二	五三三 八九四 一、七〇三	乙

水等ノ關係ヲ有セス、附近ニハ郡道アリテ工費用諸材料ノ運搬ニ便アリ、發生電力ハ大聖寺町及其ノ附近町村ノ燈用及動力用ニ供スヘシ

第二十二章 大聖寺川水系

一、流域

全面積

一一・八方里

利用シ得ヘキ面積

一〇・九方里

地勢

白山別山ハ西ニ延ヒテ石川縣能美、江沼兩郡界ニ海拔四、五一・八尺ノ大日山ヲ聳立シ更ニ尙三、〇〇〇尺内外ノ高距ヲ保テル丘陵ヲナシテ西ニ蟠リ火燈山富士寫嶽ヲ起シ劔峰、刈安山ヲ絡キテ加賀、越前ノ國境ヲナス

本水系流域ハ之ヲ分水嶺トナシ西南方ニ九頭龍川流域

ト界ヲ接シ、東北方ハ大日山、小大日山ヲ經テ北東ニ蜿蜒セ
ル連嶺ニヨリテ梯川水系、動橋川流域ニ隣ス、流域ハ是等兩
山脈ニ挾マレ東南ヨリ西北ニ向ツテ延ヒ上流部ニ至リテ
次第ニ山勢急峻トナル

地質 上流部水源地方ハ侏羅層ヲ被覆セル雲母安山岩
及之ニ竝ヒテ西方ハ粉狀安山岩大部ヲ掩ヒ、其ノ他小區域
ノ片麻岩及石英粗面岩ヲ見、中流部以下海ニ至ル迄ハ殆ト
第三紀層ノ丘陵ニ屬ス

林野狀態 流域ハ山林ニ富ミ中流部以上ニ於テ其面積
約九、〇〇〇町步、主ニ針濶混淆林ニ屬ス、トモ濶葉樹多ク
林相概シテ良好ニシテ殊ニ西谷村地方ニ於テ優ル

二、河川狀況

大日山ヲ發シタル本川ハ峻峻ナル山峽ヲ
縫ヒ北西ニ向ヒ流ルルコト約二里西谷村字九谷ニ至リテ
右ニ溪流ニ合セ水量頓ニ増加シ夫ヨリ流レテ西方ニ轉